

今この御光。一天にかざりて。恩沢ハ荒にあらぬ。

四民安堵の栖。穩也。猶憚多くて筆を指置まぬ。

あらたふと青葉若葉の日の光

〔奥の細道〕

今この日光東照宮に祭られている徳川家康公の威光が広く天下に輝き、国のすみずみまであふれんばかりの豊かな恩恵が行き届き、士農工商すべて安心して、穏やかに住むことができる。なお、私ごときがこれ以上日光について書くのは恐れ多いのでこのへんで筆を置くことにする。

あらたふと青葉若葉の日の光

ああなんと尊いことだろう、「日光」という名の通り、青葉若葉に日の光が照り映えているよ。

一般

段級

